

「ゴーゴー・しんぞう」

飯塚市議会議員うえの伸五の

市政報告



皆さま、いつもお世話になっております。上野伸五です。

先日の臨時議会において、**所属会派「同志会」**の田中博文議員の議長就任に伴い、**後任の会派代表者に就かせていただきました。**正に身の引き締まる思いです。

会派代表としての活動は初めてのことですが、役目役割を一つ一つ認識・把握しながら円滑な議会運営に努めてまいりますと考えております。

また、常任委員会におきましては、二年間の総務委員長
の任期を終え、後半二年間は市民文教委員会の所属となりました。

日常生活での様々な問題・課題の改善や、まちづくり協議会・自治会活動などの市民生活の充実を目指して活動してまいります。

また、小中一貫穎田校の建設に至るまでの地元の方々や先生方との協議などの実体験を活かしながら、飯塚市の教育現場の充実にも寄与してまいりますと考えています。

「明日の飯塚を考える有志の会」の活動。

昨年十一月に結成した「若手議員・有志の会」ですが、参加議員の積極的な活動により「高齢者の福祉施策」「地域の活性化施策」「コミュニティバス・乗合いタクシー事業」「自治基本条例」「浸水対策・実施三カ年計画」「入札制度の課題」「オートレース事業」など、市民生活に直結する諸問題や今後の課題について、定例勉強会、現地視察の後、市長、担当部署へ議員連名の要望書を提出し、各事業の改善を促しております。

このように、各地域選出の議員が、お互いの地域事情を共通理解し協力し合うことが、**地元だけではなく飯塚市全体の活性化にもつながると考えております。**

2期目の後半は、初めての立場・所属となりましたが、今後とも「住みやすいまちづくり」のため、議会活動に邁進してまいりますので、更なるご指導ご鞭撻、叱咤激励を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成25年度当初予算・潁田地区関連を抜粋 (24年度補正予算含む)

| | (単位：千円) |
|----------------------|---------|
| ◆ 財産管理費 | |
| 潁田庁舎施設管理費 | 13,033 |
| ◆ 地域振興費 | |
| 小竹天道線バス路線維持負担金 | 17,365 |
| 直方線バス路線維持負担金 | 777 |
| まちづくり支援事業費(潁田・庄内分) | 833 |
| 潁田まちづくり協議会補助金 | 1,336 |
| ◆ 高齢者福祉費 | |
| 潁田高齢者福祉センター運営費補助金 | 5,962 |
| ◆ 環境衛生費 | |
| 環境美化パトロール業務委託料(旧4町分) | 8,243 |
| ◆ 清掃総務費 | |
| 旧清掃施設跡地管理費(青池) | 15,606 |
| ◆ 農業振興費 | |
| 有害鳥獣駆除対策事業費補助金 | 7,835 |
| ◆ 農業土木費 | |
| 佐與鹿毛馬土地改良区補助金 | 2,902 |
| 神籠石ため池護岸改良県営事業負担金 | 18,200 |
| ◆ 国土調査費 | |
| 潁田地区国土調査費 | 2,173 |
| ◆ 商工業振興費 | |
| 商工会事業補助金 | 14,367 |
| かいた産業まつり助成金 | 2,041 |
| ◆ 道路橋梁新設改良費 | |
| 東勢田・新立線道路改良工事 | 7,800 |
| ◆ 道路橋梁維持費 | |
| 石丸・中学校線道路補修工事 | 20,300 |
| ◆ 下水道費 | |
| 潁田中央東団地下水処理施設管理費 | 5,421 |

| | |
|-----------------------|-------------|
| ◆ 浸水対策事業費 | |
| 穎田小学校跡地他 調整池測量設計委託料 | 1 3 9,7 0 0 |
| 穎田排水ポンプ場新設事業費 | 3 4,4 0 0 |
| ◆ 住宅建設費 | |
| 穎田中央公営住宅外壁等補修工事 | 3 6,7 0 0 |
| 小峠東改良住宅外壁等補修工事 | 9,5 0 0 |
| 小峠東改良住宅集会所屋根補修工事 | 3,7 0 0 |
| ◆ 小学校管理費 | |
| 穎田小学校スクールバス運転委託料 | 9 8 8 |
| 穎田小学校体育授業等送迎バス運転委託料 | 2,4 1 8 |
| ◆ 穎田小学校整備費 | |
| 穎田小中学校統合事業費 | 2 6 2,2 0 0 |
| ◆ 中学校教育振興費 | |
| 中学校水泳授業運営費（穎田中他 4 校分） | 5,0 4 6 |
| ◆ 中学校整備費 | |
| 穎田小中学校統合事業費 | 2 3 2,3 0 0 |
| ◆ 幼稚園運営費 | |
| かいた幼稚園バス運転委託料 | 1,3 1 6 |
| ◆ 認定こども園整備事業費 | |
| かいた幼稚園解体工事 | 1 8,1 0 0 |
| ◆ 文化財保護費 | |
| 旧松喜醤油屋管理費 | 8 7 8 |
| ◆ 公民館施設管理費 | |
| 穎田公民館施設管理費 | 1 3,5 7 4 |
| ◆ 図書館費 | |
| 図書館臨時職員雇用経費（穎田・穂波） | 2,9 1 4 |
| ◆ 保健体育施設管理費 | |
| 穎田地区体育施設維持管理委託料 | 8 4 5 |
| 穎田体育館維持管理委託料 | 7 2 7 |
| 穎田野球場バックネット改修工事 | 1 3,0 0 0 |
| ◆ 給食事業費 | |
| 穎田小中学校調理業務委託料（25～26年） | 1 4,8 0 0 |

平成二十五年三月議会での一般質問抜粋

○議員や市長等の報酬等を審議する特別職等報酬審議会が合併後一度も開催されていません。その是非について。

○飯塚市幹部職員が退職後、市と密接な関係にある団体等へ再就職している実態の是非について。

○こども園 周辺歩道へのガードレール設置など歩行者の安全確保施策の実現について。

○地元と密着した孤独死対策の確立について。

『報酬審議会について』

【うえの伸五】

特別職等報酬審議会の設置目的は。

【人事課長】

市長の諮問に応じ、議員報酬の額、並びに市長及び副市長の給料の額に関する条例を議会に提出する場合、あらかじめ審議をし、その結果を市長へ答申するものです。

【うえの伸五】

議員報酬の額は、旧飯塚市での平成十三年十月以来変更されていないが、その理由は。

【人事課長】

新飯塚市の順位は、二十四年四月一日現在、政令市

を除く県内二十六市中、第五位、類似団体では三十六市中、第一九位です。また、議会の状況等を総合的に勘案した中で合併後は審議会の開催に至っていません。

【うえの伸五】

（合併後）審議会を経ていない議員報酬だが、市長は全く問題がないと考えているのか。

【総務部長】

少なくとも、これまでのところ開催の必要性は少なかつたものと考えております。

【うえの伸五】

具体的な必要性が認められなくても、状況の確認や報酬額の適正性の検証の意味も含めて、定期的に関催すべき、少なくとも選挙のサイクルと同じ四年に一度は開催すべきではないかと考えるが、いかがか。

【人事課長】

いま質問者の御提案を参考とさせていただき、市議会の御意見も賜りながら今後の検討課題としてまいります。

【うえの伸五】

特別職の給与や退職金も審議会の対象にすべきではないのか。

【人事課長】

福岡県市町村職員退職手当組合から、その規定に基づき支払われているので対象とすることは大変難

しい、また、他市についても審議会対象とはしていない状況です。

【うえの伸五】

市民にわかりにくいところで退職金を決めるよりも、審議会で堂々と決定するほうが市民の皆さんも納得できるのではないかと思うが、私とは見解が違ふということなので、問題提起に留めておくが、市長、この質問このまま終わらせてよろしいですか。

【市長】

市民にわかりやすいというような、市民の判断と言われましたけど、逆に難しいんじゃないかと思いません。

何を基準に市民がそれを判断するかになってくるわけですから、今の審議会のほうにお任せして、こちらのほうで全国的な数値を見たりですね、県内の数値を見たりして、やっていくのが私は一番間違いないというか、間違いないという表現がおかしいのかわかりませんが、**妥当な数字がそこに出てくるのではないだろうかと思えます。**

【うえの伸五】

わかりました。市長がぜひ審議会に付していきたいという御答弁ですので、そのように承ってこの質問は終わります。

次に幹部職員の方々が飯塚市と密接な関係のある

諸団体へ再就職している現状は、**市民に天下りだという誤解を招くおそれがあると思えます。**

市民に疑われるような再就職は自粛するように厳しく指導するべきではないかと思うが、いかがか。

【人事課長】

団体等への就職につきましては雇用する側のニーズと雇用される側の当事者間で最終的に判断、決定される一般的な雇用形態であり、御指摘の官民癒着の事例として取り上げられます。

いわゆる天下りのようなものとは全く性格を異にするものと考えるとござります。

【うえの伸五】

理由はどうあれ、結果を見れば、市民目線から見れば納得できないのではないかと考える。

問題が全くないと言われるのであれば、そのような認識が正しいのかどうか、パブリックコメントの実施や、第三者委員会の立ち上げを要望したいが、いかがか。

【人事課長】

市を退職され、市との雇用関係が全くなくなった退職者が基本的に独立した団体等に就職したことで、市において何らかの損害あるいは不利益を被るような事案、また、その団体等に違法な便宜供与を行うような疑いがあるなど調査しなければならぬと思われるような状況があるとは現状のところ認識

識はしておりません。

したがいまして、現状において公正、中立な専門家によって構成される、いわゆる**第三者委員会、機関の設置は必要ない**のではないかと今のところ考えております。

【うへの伸五】

市長、このような再就職、やめさせるような指導はされませんか。

【副市長】

今までの経験、能力、そういうものをこの地域でいろんなどところで発揮して、お世話になった飯塚に役に立てろうとするものでございますので、それはそれでいいことではないかと考えております。

【うへの伸五】

私を知りうる限りではそれらほとんどの団体で、再就職職員へ支払われている給与額は四〇〇万円弱。受け取る年金が減額されない上限と同じくらいの給与設定ではないのか。

飯塚市と密接な関係のある団体へ再就職を余儀なくされる場合は、再任用職と同等の待遇を申し出ていただきたい。

そうであれば市民もある程度納得できると思いますし、再就職団体の財政にも寄与できる。

また、**飯塚市が再任用先にお困りなのであれば、職員**の少なくとも各支所にワンストップサービス

カウンターを設置し、そちらで御活躍いただくこともよいのではないのでしょうか。

市民意見の募集や第三者委員会は設置する必要がないと言われるので、現状ではこれ以上議論の余地はありません。

私は私なりに市民の意見をお聞きしながら、今年度退職される幹部職員の皆さんの再就職先の状況などを注視し、**必要と考えれば、議会での調査特別委員会設置等の申し出も考えさせていただけよう**と思っております。

飯塚市と密接に関係のある団体名を申し上げておきます。

飯塚市体育協会、飯塚市商工会、西日本小型自動車競走会、飯塚市教育文化振興事業団、サンビレッジ、飯塚市社会福祉協議会、飯塚市シルバー人材センター、福岡ソフトウェアセンター等でございます。今年度退職される幹部職員の皆さんの真摯な再就職、再任用に御期待を申し上げて、次の質問に移ります。

『**いづも園 周辺歩道の安全確保について**』

穎田こども園では、園の行事を周辺の公民館や体育館で行われておりますが、移動経路にはガードレールが設置されております。

同僚の守光議員からも要望があっていると聞いていま

すが、**園児の安全確保**についてはどのように考えられているのか、お尋ねをいたします。

【保育課長】

現在も穎田保育所では、園行事で園外に出る際には、職員体制と園児への安全教育を徹底しながら公民館、それからサンシャインかいたや体育館を利用してまいります。

四月からは認定こども園となり、児童数もふえることから、園舎前の市道は穎田小学校の通学路にもなっておりますので、小学校とも連携しながらガードレール等の設置など安全対策が必要かどうか検証しながら、必要な場所については担当所管と協議しながら**設置について要望しながら、児童の安全確保に努めてまいりたい**というふうに考えております。

【うえの伸五】

園児の安全確保もちろんですけれども、いま御答弁ありましたように、穎田の旧校舎の解体作業に伴って、通学経路を変更して、この道を通る子ども達も多くなるのではないかと思いますので、**安全対策**については**早急に実現していただきますように**、お願いをいたします。

(また、こども園になる事により)遊戯室がなくなることは、著しいサービスの低下です。

遊戯室、ぜひ新設をしていただきたい。

この建物建設の折には、幼稚園と一緒になることは

想定されていなかった。この議会でも複数の議員が指摘をされておりますが、光化学スモッグに加え、PM2.5など考えられない大気汚染に幼い子ども達がさらされております。

ぜひ、当初の思いに立ち返っていただいた対応をお願いしたいと思いますが、担当部長いかがでしょうか。

【児童社会福祉部長】

改善するべき点があれば、改善を図っていききたいということ、保護者の皆さん、子ども達に不安を抱えないような形でやっていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

【うえの伸五】

財政的な面もありますので、庁内で検討していただき、ぜひ実現をしていただきたい。

私は平成二十三年の九月議会において**市内の小中学校普通教室へのエアコン設置に関する請願を提出**させていただきました。

十二月議会で、残念ながら不採択となりましたけれども、現在のような大気状況や飯塚市の財政状態を鑑みれば、特例債の使えるうちに手掛けられるべきではなからうかと御意見を申し上げて、この質問は終わります。

『孤独死対策の確立について』

ひとり暮らしや高齢者のみの世帯が増加する中、地域で孤立した状態で死亡する、いわゆる孤独死が社会問題になっております。

しかし最近、ひとり暮らし等の高齢者だけでなく世帯の生計の中心者が突然死したため、残された家族も死亡するというような悲惨な死亡事故が発生しております。

そこで、昨年の決算特別委員会において孤独死は高齢者だけに限らず、あらゆる年齢層に対応できる孤独死防止策を構築していただくように要望しておりますが、その後どのような対応をされましたか。

【高齢者支援課長】

市民の方が通報しようとする場合、通報先や相談先が分かれていては、あらゆる年齢層に対応できる孤独死防止策につながりません。

そのようなことを踏まえまして、内部協議を行い、孤独死防止対策や相談、通報窓口の一本化の必要性に対する共通認識をもちました。各課協議の上、高齢者支援課を所管課とすることといたしました。

【うえの伸五】

高齢者だけではなく障がい者やひとり親家庭がある中で、高齢者支援課と決まったということですが、亡くなられて相当期間を経過した方々の身元確認

業務などは本当に大変だと思えます。

自ら引き受けられたのか、押しつけられたのかは別にして、一本化されたというのは大きな安心です。

しかし、窓口の一本化や協議しただけでは、孤独死防止にはつながりません。

今後も民生委員や自治会関係者の方々との連絡を密にさせていただいて、悲惨な孤独死を防止、早期発見できるシステムのネットワーク化に努めていただきますようお願いを申し上げて、私の一般質問を終わります。ありがとうございました。

皆さまが気付かれた様々な事柄や、御意見、御要望をお聞かせください。

大した事はないと思われた事柄でも、実際には、たくさんの方が困ってらっしゃるかもしれません。

何か気が付かれた事がありましたら、お気軽にお知らせ下さい。

今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

【連絡先番号】 090(3079)0470

【メールアドレス】 info@ueno-shingo.com